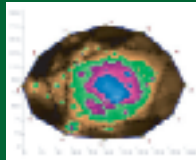
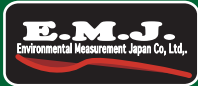


The PICUS Sonic Tomograph

樹木内観診断システム・ピカス(EMJ仕様)



樹木内観診断システムPICUS

ご存じのように音は、固体>液体>気体というように密度の順に伝わりやすい性質を持っています。音が樹木内部を伝わるときも同様です。健康な部位は密度が高く速度が上がり、腐朽を受けた部位は密度が低く速度が下がります。PICUSでは、この「腐朽と音の関係」というシンプルな原理を応用することで断層画像を測定しています。

PICUSの特徴

わかりやすい結果
樹木にやさしい
樹種を選ばない
速い
断面形状の入力が可能
パソコン操作
幅広い応用

測定結果は画像として出力。腐朽の進行は色で表示するため一目瞭然。
鉄釘を数cmの深さ打つだけ。ほぼ非破壊。
幹周1~15mまでと街路樹から巨樹まで測定可能。
セットアップから測定完了まで約20分(12センサ時)で計測可能。
複雑な断面を持つ樹幹は Free Shape 機能で正確に入力可能。
PCを通して操作し、計測データも同時保存。解析や報告書の作成に便利。
樹木治療、街路樹管理・公園管理・文化財保護・森林研究など幅広く応用可能。

PICUSの欠点

誤った使い方でも結果が出力されてしまう事です。無意味な結果というばかりでなく、断層画像の善し悪しは診断結果に大きな影響を与えます。再現性良く高精度に測定するには十分な経験を持ったオペレータによる測定が不可欠です。日本環境計測(株)では購入者を対象にPICUSオペレーター養成講座を準備しております。

仕様緒言

大きさ 540 X480 X180mm
重量 11.3 kg (ケース込)
電源 100-220V 鉛電池
消費電力 35mA
充電時間 10時間
運転時間 約4時間(12モジュール使用時)
通信規格 RS232C(USB変換ケーブル付属)
Bluetooth (オプション)
推奨PC Pentium 266MHz以上
メモリ64MB以上
対応OS: Windows 98 / 2000 / XP

構成内容 本体・モジュール・巻尺・クランプ・ストラップ・充電器・シリアルケーブル
モジュールケーブル・Yケーブル・ハンマー・鉄釘・プライヤ・PICUSソフトウェア・
日本語マニュアル・ケース・小径木用クイックバンド・USB-シリアル変換ケーブル

PICUS12



計測手順(要約)



1. 幹周を巻尺で測り幹の周りに一定間隔で鉄釘を打つ



2. ストラップにモジュールを装着、釘にセンサーを取付



3. Yケーブルとハンマーを用いて全部の鉄釘をロックする



4. PC上で断層画像を計算・表示・保存する

Environmental Measurement Japan



日本環境計測株式会社
〒818-0061福岡県筑紫野市紫6-5-1
電話 & FAX : 092-920-1067
www.environment.co.jp